

横浜市立大学 デザインワークショップ2025



女性が気軽に国内で 一人旅を楽しむ サービスを考える

横浜市立大学都市社会文化研究科 胡可欣

横浜市立大学国際教養学部 長岡勝梧

WSの概要

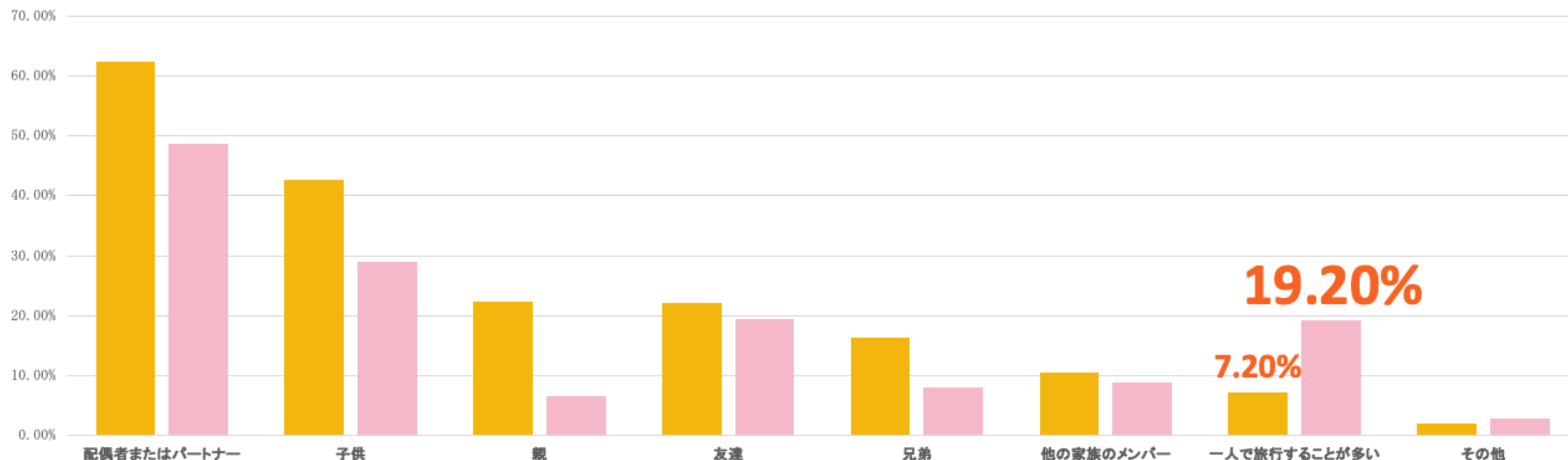
- 近年、価値観の多様化やライフスタイルの変化により、「一人で過ごす時間」や「ソロ活」が注目されている。
- 特に女性の一人旅は、自分らしさを見つける機会として支持される一方で、不安や孤独感、社会的視線などの課題も存在する。
- 多様な視点から意見を交わし、自分ごととして考えることを目的とする。

WSの目標

- 「女性の一人旅のハードルをどう下げるか？」を考え、具体的な提案につなげる。
- 一人旅に対する心理的・物理的な不安や課題を理解する。
- 一人旅を通して、女性が安心して自分らしさを楽しみ、生活の質(QOL)を高める手段を探る。
- 女性が自分の時間や価値観を大切にし、自由な選択を実現できる社会について考える。

休暇で旅行に行く時誰と行きますか？

■ 世界 ■ 日本

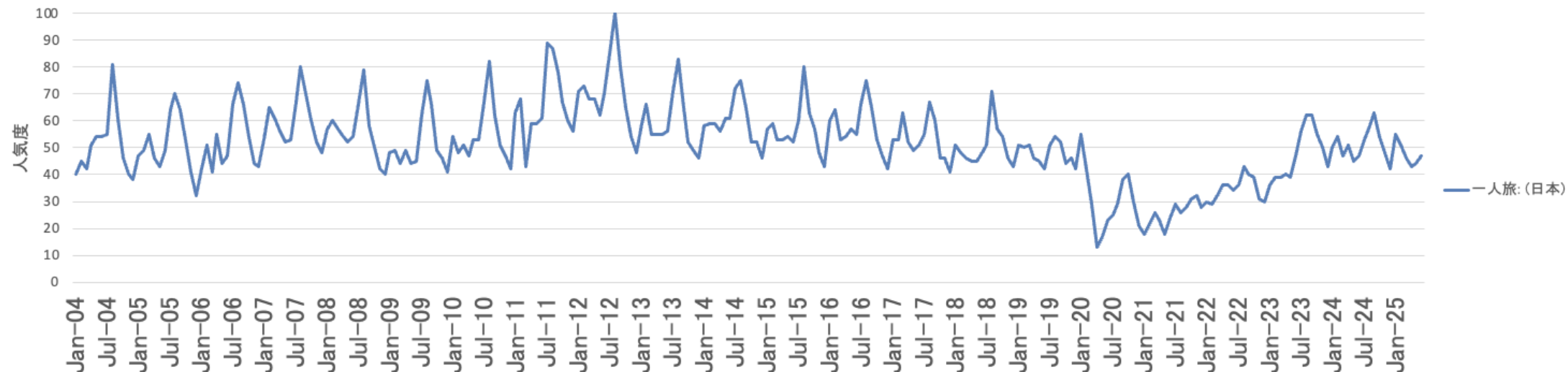


国際的な市場調査会社ユーロモニターが、世界各国を対象に消費者調査を実施。

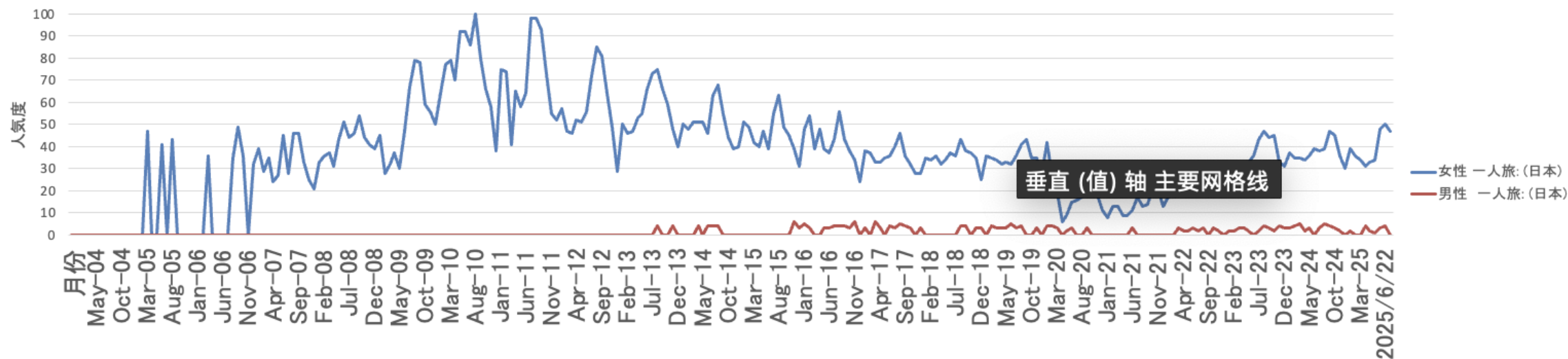
(調査対象: 39カ国、各約1000名、調査期間: 2024年1月～2月)

「一人旅」がもはや特別な行動ではなく、自分らしく過ごす新しいスタンダードになりつつある。コロナ禍を経て無理に人に合わせず、自分のペースで楽しむ価値観の広がりがある。観光・宿泊業界も「ひとり対応」を前提とした設計が必要な時代になっている。

「一人旅」Google検索人気度の動向(2004/01～2025/06)

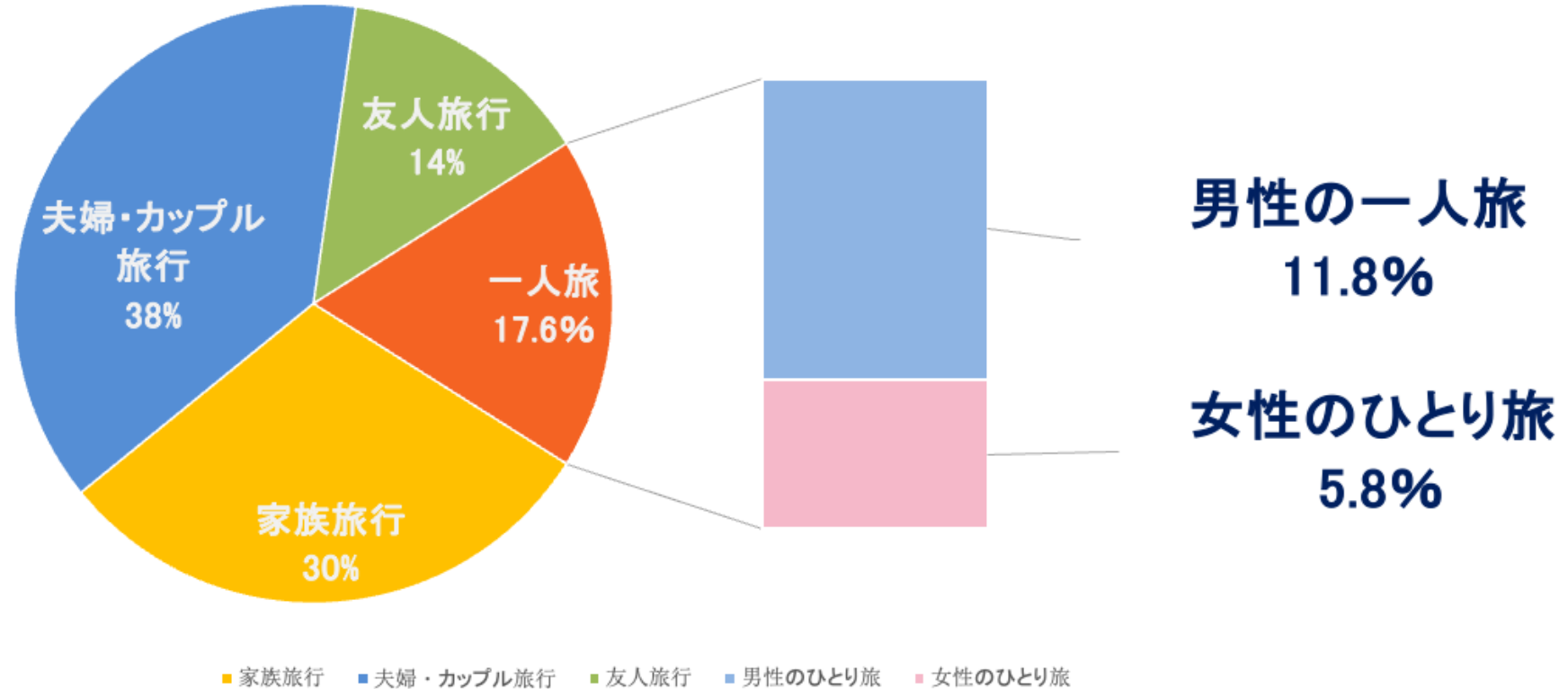


「女性 一人旅」と「男性 一人旅」Google検索人気度の動向(2004/01～2025/06)



「一人旅」は2000年代後半から安定した人気を維持しており、特に長期休暇シーズンに検索数が急増する傾向がある。2010年前後からは「おひとりさま」文化やSNSの普及、女性の経済的自立が後押しとなり、「自分のための旅」への関心が高まり、女性の一人旅需要が定着しつつある。

日本旅行の市場区分別



日本の旅行市場における「一人旅」は全体の17.6%であり、男性が12%、女性が6%と、男女の差が顕著である。

⇒多くの男性は、女性が一人旅で直面する不安や困難を経験したことがなく、想像する機会も少ないかもしれない。

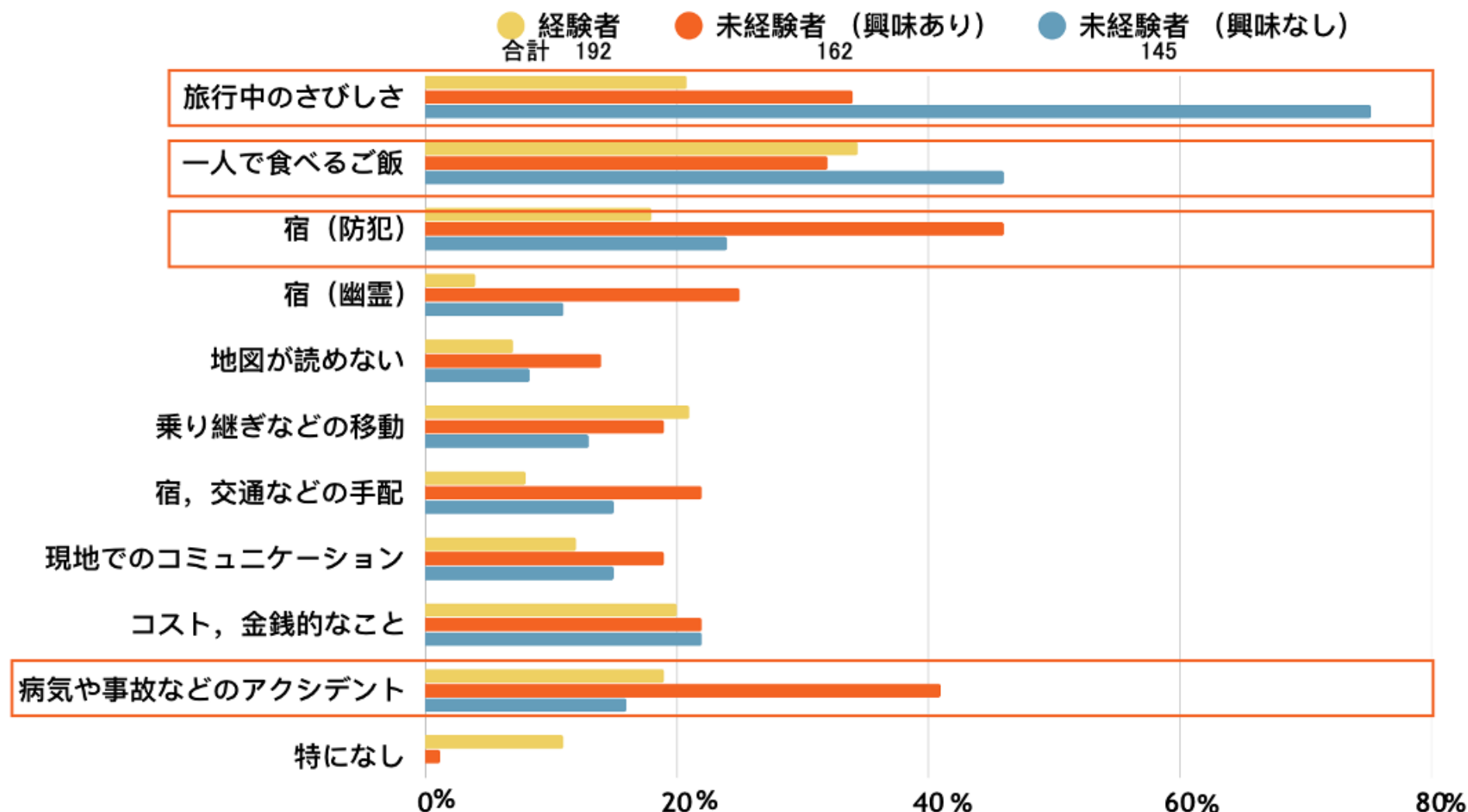
女性にとっての一人旅は「難しい」？

「おひとり様」活動難易度ランキング 一人旅(国内)

	男性(N=546)	女性(N=430)		一人旅経験あり(N=524)	一人旅経験なし(N=452)
1位	テーマパーク/アミューズメントパーク	テーマパーク/アミューズメントパーク	1位	テーマパーク/アミューズメントパーク	テーマパーク/アミューズメントパーク
2位	カラオケ	一人旅(海外)	2位	カラオケ	一人旅(海外)
3位	コンサート/ライブ	焼肉店	3位	一人旅(海外)	一人旅(国内)
4位	一人旅(海外)	水族館・動物園	4位	コンサート/ライブ	コンサート/ライブ
5位	水族館・動物園	コンサート/ライブ	5位	水族館・動物園	水族館・動物園
6位	焼肉店	一人旅(国内)	6位	焼肉店	焼肉店
7位	美術館・博物館	レストラン/居酒屋	7位	美術館・博物館	カラオケ
8位	映画	カラオケ	8位	レストラン/居酒屋	レストラン/居酒屋
9位	レストラン/居酒屋	美術館・博物館	9位	映画	美術館・博物館
10位	一人旅(国内)	アウトレット	10位	アウトレット	映画
11位	アウトレット	映画	11位	一人旅(国内)	アウトレット
12位	牛丼屋	牛丼屋	12位	牛丼屋	牛丼屋

- 女性は男性よりも一人旅に対してネガティブなイメージを持ちやすい
⇒「国内一人旅」の難易度は女性の方が高く評価されている。
- 一人旅未経験者では「国内一人旅」が3位の高難度、経験者では11位に下がる。
⇒一度経験すれば、抵抗感が大きく減る。

女性一人旅の不安要素の比較



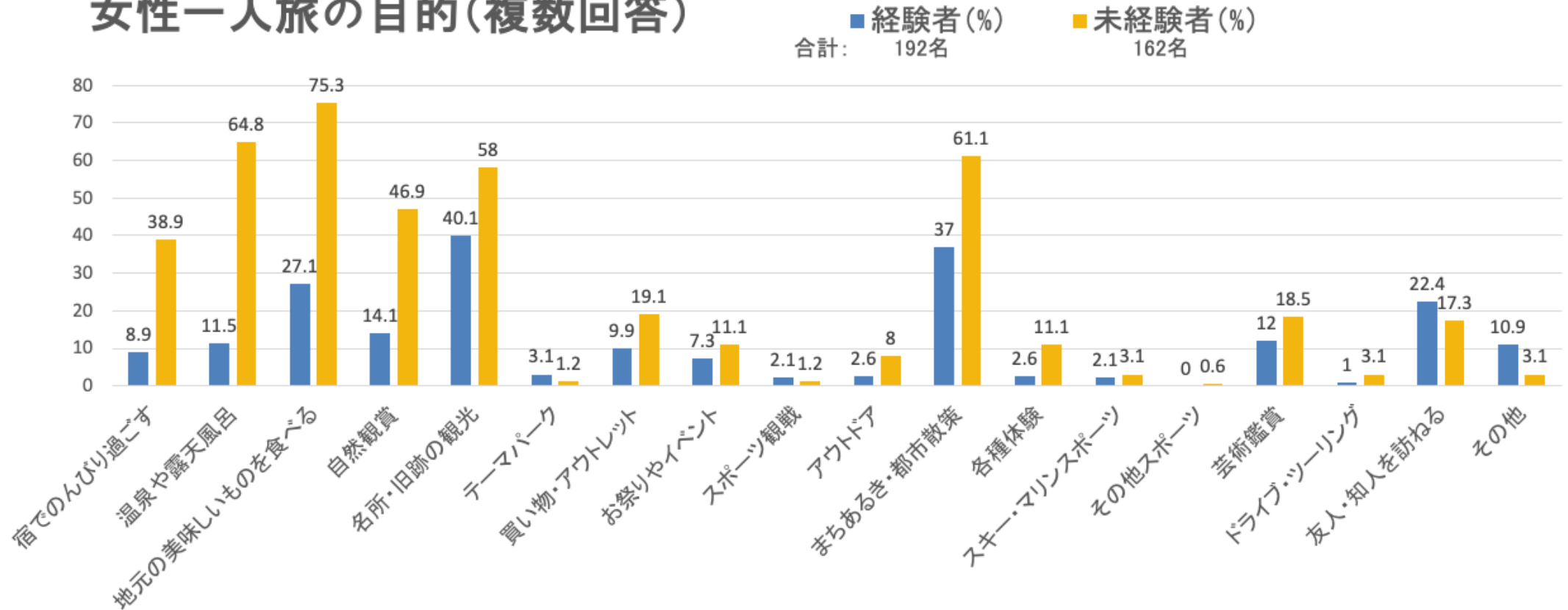
経験者: 全体的に不安は少ないが、「一人での食事」が最も心理的負担となる。

未経験者（興味あり）: 防犯や病気、宿の手配など現実的な不安が多い。

未経験者（興味なし）: 「孤独」への精神的な不安が大きく、行動に踏み出せない。

女性一人旅のきっかけ

女性一人旅の目的(複数回答)



- 経験者は「名所・旧跡の観光」や「都市散策」など、旅先でしか体験できないことを重視。
- 未経験者は「宿でのんびり」「温泉」「自然観賞」など、日常でも代替可能な活動を好む傾向、漠然とした憧れが中心

⇒実際に一人旅へ踏み出すには、「不安」を上回るほどの明確な目的がカギ。未経験者の関心を行動に変えるためには、

行く理由＝“達成したい目的”を感じさせる仕掛けが必要

既存のサービス

1. クラブツーリズム：女性限定／ひとり旅ツアー

内容：女性のみ参加可／添乗員同行／1名1室確約

【女性限定ひとり旅】クラブツーリズム特集ページ

<https://www.club-t.com/sp/theme/friend/ohitori/special/common/iyoshitabi/2/>（最終閲覧日：2025年6月30日）

2. 女性専用バス・ツアー（例：阪急交通社、おとこの旅など）

内容：おひとり様参加可の国内バス・鉄道ツアー

【おひとり様歓迎ツアー】阪急交通社特集ページ

<https://www.hankyu-travel.com/ohitori/>（最終閲覧日：2025年6月30日）

3. 宿泊施設の“おひとり歓迎”プラン

例：レディースフロア確約／部屋食やルームサービス付き

【女子ひとり旅ガイド】Ozmall「大人の一人旅2025」

<https://www.ozmall.co.jp/travel/feature/8346/>（最終閲覧日：2025年6月30日）

4. デジタル支援・SNSコミュニティ

内容：Facebookグループ「おひとり様旅」などで情報共有や励まし合い

.....

女性の一人旅をめぐる可能性

女性の価値観やライフスタイルは多様化し、「自分らしさ」や「ひとり時間」を大切にする傾向が強まっている。その流れの中で、一人旅は単なる観光ではなく、自己対話や心身のリフレッシュ、人生の再設計の場として注目を集めている。

「自由」「癒し」「自己発見」を実現する場として、女性の一人旅はQOL(生活の質)を高め、人生に前向きな影響を与える可能性を秘めている。今後の観光政策やサービス開発において、女性の一人旅を支援する視点が重要なテーマとなるだろう。

プログラム・スケジュール

10:00-10:30	オリエンテーション・概要説明
10:30-10:50	価値観ベスト3(各自が旅行において大事にしたい価値観を選ぶ)
10:50-12:00	KJ法:課題整理・構造化(女性の一人旅における不安・魅力・体験)
12:00-12:50	お昼休み
12:40-13:40	スピードストーミング:課題深掘り(4~5回意見交換、アイデアを発表)
13:40-14:40	プロトタイピング(解決案を1~2つ選び、イメージ化)
14:40-14:50	休憩
14:50-16:00	発表資料作成

参考文献

- ・ 調査・研究報告

窪村麻里子・矢部直人・倉田陽平 2012. 女性の一人旅への動機と不安. 観光情報学会第5回研究発表会予稿集:1-4.

近藤千恵子 2019. 一人旅ってどう思う. 観光とまちづくり, 538:10-17.

公益財団法人日本交通公社 2023. JTBF旅行実態調査「I-1 日本人の旅行市場の概況」.

トラベルボイス編集部 2024. 日本人の「一人旅」傾向:世界39か国調査,
<https://www.travelvoice.jp/20240719-155842>(最終閲覧日:2025年6月30日).

- ・ 関連サイト(既存サービス紹介)

【女性限定ひとり旅】クラブツーリズム特集ページ

<https://www.club-t.com/sp/theme/friend/ohitori/special/common/jyoshitabi/2/>

【おひとり様歓迎ツアー】阪急交通社特集ページ

<https://www.hankyu-travel.com/ohitori/>

【女子ひとり旅ガイド】Ozmall「大人の一人旅2025」

<https://www.ozmall.co.jp/travel/feature/8346/>